産業労働心理学Ⅰ

科目ナンバリング　SOP-302
選択　　2単位

堀田　結孝

1. 授業の概要（ねらい）

産業、組織、労働の文脈における人間の行動や心理に関する社会心理学の基礎的知見を学ぶ。産業・組織心理学Ⅰでは主に、産業や労働に関わる“個人”の心理プロセスに焦点を当てる。秋学期に開講予定の産業・組織心理学Ⅱでは、“組織”や”集団”に関するテーマを中心的に取り上げる予定である。

2. 授業の到達目標

・職場における問題（キャリア形成に関することを含む。）に対して必要な心理に関する支援を身につけることができる。
・組織における人の行動について理解することができる。
・近年の労働環境を取り巻く社会問題について関心を抱くことができる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験70%、課題30%で総合的に評価する。
授業期間中に6回程度、復習のための課題をLMSの機能を用いて出題する。課題のフィードバックは授業内で実施する予定である。
期末試験もLMSの機能を用いて実施する予定である。最後のまとめの回で期末試験のフィードバックを行う予定である。

4. 教科書・参考文献

参考文献
　田中堅一郎　編　産業・組織心理学エッセンシャルズ　第4版　ナカニシヤ出版
　山口裕幸・芳賀繁・高橋潔・竹村和久　経営とワークライフに生かそう!産業・組織心理学　有斐閣
　幸田達郎　基礎から学ぶ産業・組織心理学　勁草書房

5. 準備学修の内容

各テーマの最初の回に、資料を配布する予定である。
配布資料、各自取ったノート、LMSで公開しているスライドなどを読みなおして、前回までの学修内容を復習する。各テーマの背後にある問題、出てきたキーワードを自分で説明できるようになることを目指して復習する。

6. その他履修上の注意事項

資料はLMSを通して配布する。

※2018年度以降の入学生には、公認心理師受験資格に必要な科目です。
　2017年度以前の入学生は、心理学科のホームページを参照してください。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション：産業・組織心理学とは？
【第2回】　ワークモチベーション1：労働意欲
【第3回】　ワークモチベーション2：公正感
【第4回】　人的資源管理1：能力の評価
【第5回】　人的資源管理2：パーソナリティと適性
【第6回】　人的資源管理3：人事評価
【第7回】　人的資源管理4：教育訓練
【第8回】　消費者行動1：消費者意思決定の特徴
【第9回】　消費者行動2：よりより意思決定への導き方
【第10回】　作業改善と安全対策1：リスク・マネジメント
【第11回】　作業改善と安全対策2：ヒューマンエラー
【第12回】　ストレスとメンタルヘルス1：労働と精神的健康
【第13回】　ストレスとメンタルヘルス2：ワーク・ライフ・バランス
【第14回】　期末試験及び参考文献の紹介（オンライン）
【第15回】　まとめ